



丸山慎一

日本共産党千葉県議会議員
(船橋市)

2017年3月 県議会報告

(事務所)

274-0805 船橋市二和東 6-41-20

電話 047(440)5240 fax 047(449)7004

http://maru.on.coocan.jp/

安倍暴走政治から 県民生活を守る千葉県に

日本共産党は2月県議会で、現知事が掲げる「暮らし満足度日本一」とはあまりにもか
離れた実態を明らかにし、国の悪政から暮らしを支える県政にどう変えるか、提案しました。

福祉の予算 最低クラスから脱する 「3つの改革」を提案します

千葉県の財政力指数、県民税は全国4位。一方、県全
体の民生費は46位、社会福祉費、老人福祉費47位、児童
福祉費44位など全国最低クラスが続いています。予算の
優先順位をかえれば、県民生活をよくすることができます。

第1の改革 税金の集め方を変え、大企業に応分の負担を求める

大企業への法人事業税超過課税で168億円の財源を確保すれば、全市町村で
中学3年までの入通院費無料化、私学施設設備費減免などが実現できます

8都府県で実施している大企業への法人事業税超過課税。
2017年度の見込みでは最大168億円の独自財源がつかれま
す。これを使えば、右表にある施策は十分可能です。

大企業は、この間、国の減税の恩恵を受けており、負担
できる体力は十分にあります。

国保料・税 一世帯1万円引き下げ	100億円
中学校3年生までの通院費助成(現行制度)	31億円
重度障害者児の医療費完全無料化	3億円
私立学校250万円未満世帯の施設設備費全額免除	9億6000万円
定時制高校の夜間給食復活	3420万円



第2の改革 不要不急な巨大開発の浪費をあらためる

ハツ場ダム建設 千葉県負担増額で464億円に

水道水は足りています。都市河川氾濫、ゲリラ豪雨対策にも効果はありません。千葉
県の負担は、昨年63億円も増えて464億円。今後もダム湖地滑り対策などで膨らむと
言われています。

大型開発計画は、住民参
加で再検討し、縮小、凍結、
中止など抜本的見直しを
提起しています

巨大道路の国への負担金 すでに2872億円支払

外環道、圏央道、北千葉道路の直轄事業負担金は2016年度までで2872億円。新年
度予算でも99億7000万円を計上しました。全面開通めざす北千葉道路の市川・鎌ヶ谷
間(8車線)は、肝心の建設費や必要性などの具体的根拠が何ら明らかにされていません。



建設中の北千葉道路(千葉県ホームページより)

破たんした「かずさ」毎年20億円以上の支出

自民党県政が鳴り物入りで進めてきた「かずさアカデミアパーク」には、関連事業も含め
て1500億円が投入。いまだに企業用地の約半分は空き状態です。毎年、用地借上げ代
金やDNA研究所運営費などで20億円を超える税金がつき込まれています。

第3の改革 中小企業・農業を応援し、地域経済を活性化させる

工業団地造成や1社70億円の補助金など
企業呼び込みに大盤振る舞い

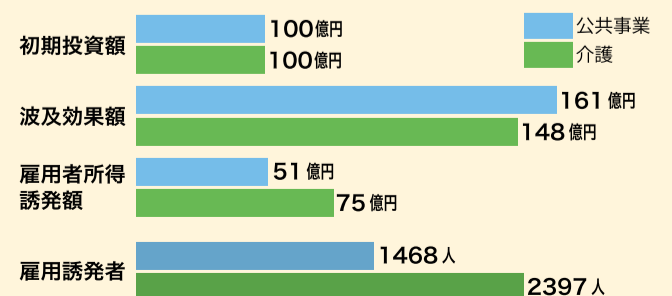
「企業が儲かれば、いずれ国民に利益が回る」という「アベノ
ミクス」は破たんしています。県内の平均月額給与は落ち込み、
雇用も非正規が主で改善していません。

しかし県は、茂原や袖ヶ浦で工業団地を造成し、多額の
補助金を差し出して、相変わらず企業誘致に熱中しています。
中小企業や農水業などを応援し、仕事と雇用をうみだしてこ
そ、地域経済を活性化できます。



介護(福祉)は、公共事業(大型開発)より
所得も雇用も効果大きい

経済波及効果の比較



県産業連関表をもとに試算